

令和 5 年 6 月 13 日現在

機関番号：37116

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2022

課題番号：19K19471

研究課題名(和文)生活習慣病の治療状況と脳・心臓疾患の発症および医療費に関する職域コホート研究

研究課題名(英文)Occupational cohort study on treatment status of lifestyle-related diseases and onset of stroke and coronary heart disease and medical expenses

研究代表者

永田 智久(Nagata, Tomohisa)

産業医科大学・産業生態科学研究所・准教授

研究者番号：40525466

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：目的：本研究の目的は、血圧値と病欠休業との関係を明らかにすることである。方法：後向きコホート研究を日本国内の7つの企業で実施した。血圧は、2014年度の健康診断で(1)<120/80、(2)120-129/80-84、(3)130-139/85-89、(4)140-159/90-99、(5)≥160/100 mmHgの5つに分類した。全疾患による30日以上有病欠休業とした。結果：20～59歳の労働者33,153人を分析した。ハザード比は、(1)を参照として、(2)1.29、(3)1.15、(4)1.40、(5)1.70であった(p for trend=0.001)。

研究成果の学術的意義や社会的意義

生活習慣および生活習慣病に関する疫学研究は数多くあるものの、健診受診者(有所見者)のその後の受療行動を詳細に把握し、さらにその後の経過を観察した報告は国外、国内ともに見当たらない。本研究は、単に検査異常のみではなく、医療機関への受診・受療行動を詳細に把握し、経過を観察する点に学術的意義がある。また、本知見は予防介入の方法を検討することに繋がり、社会的意義がある。

研究成果の概要(英文)：Objective: The purpose of this study was to determine the relationship between blood pressure levels and sick leave. Methods: This retrospective cohort study included seven companies in Japan. Blood pressure was classified into five categories based on systolic and diastolic blood pressure: (1) <120/80; (2) 120-129/80-84; (3) 130-139/85-89; (4) 140-159/90-99; and (5) ≥160/100 mmHg based on health checkup in 2014 fiscal year. Sick leave due to all disease was defined as 30 days or more until the end of 2020 fiscal year. Data were analyzed using cox regression adjusted for age, sex, body mass index, and antihypertensive drug. Results: We analyzed 33,153 workers with 20-59 years old. Hazard ratio and 95% CI were (2) 1.29 (1.10-1.51), (3) 1.15 (0.92-1.44), (4) 1.40 (1.10-1.78), and (5) 1.70 (1.15-2.51) refer to (1) (p for trend = 0.001). Conclusions: The risk of sick leave increased as blood pressure increased. Controlling blood pressure levels is important to prevent sick leave.

研究分野：産業医学

キーワード：コホート 産業保健 医療費 疾病休業

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

我が国において、高騰する医療費の適正化が喫急の課題となっている。医療費のうち約3割は生活習慣病が占めており(厚生労働省国民医療費)、我が国の主要な死亡原因となっている(高血圧:2位、高血糖:4位、高LDLコレステロール:8位; Ikeda 2012)。健康日本21(第2次)では、主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底が目標に掲げられている。

生活習慣病が脳・心臓疾患(脳卒中、心筋梗塞等)、悪性新生物等の主要なリスクファクターであることは広く国民に知られており、平成20年度特定健診・特定保健指導の開始以降、その認識は広まっている。しかし、糖尿病有病者(糖尿病が強く疑われる者)の割合は男性18.1%、女性10.5%(全体で約1,000万人)と高い状態が続いている(平成29年国民健康・栄養調査)。しかし、糖尿病の総患者数は316万6,000人であり(平成26年患者調査)、糖尿病有病者の一部しか医療に結び付いていない。労働者には定期健診、40歳以上には特定健診と年1回の健診が普及しているが、健康診断で血糖値が高く「要治療」と判定されたにもかかわらず医療機関で受診や治療を受けていない人の割合が約4割にのぼり(健康日本21推進フォーラム)、また、一旦治療開始となった後に24.4%が受診中断となったという報告がある(林道夫 糖尿病 2011)。これは、高血圧、脂質異常症でも同様の状況である。生活習慣病は、治療すべき人が適切に治療すること、また、治療している人が離脱することなく治療を継続することが重要である。

2. 研究の目的

(1) 疾病休業に関するデータベースを構築すること

(2) 健診で高血圧の者(有所見者)の受療状況が、将来の疾病休業に及ぼす影響を明らかにすること。

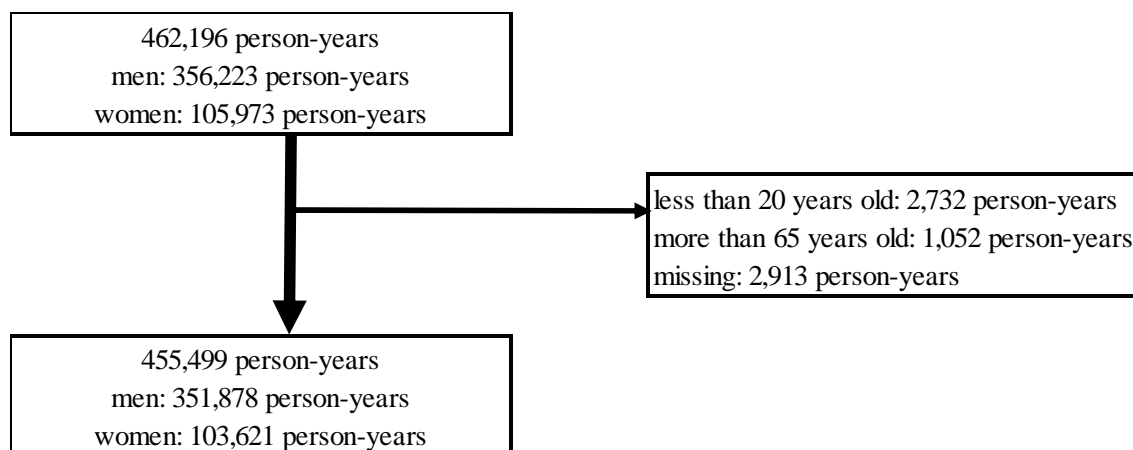
3. 研究の方法

(1) 30日以上 of 疾病休業に関して、情報を収集した。傷病名はICD-10コードに紐づけた。

(2) 後向きコホート研究を日本国内の7社を対象として実施した。血圧は、2014年度の健康診断に基づき、収縮期血圧と拡張期血圧から、(1)120/80未満、(2)120~129/80~84、(3)130~139/85~89、(4)140~159/90~99、(5) $\geq 160/100$ mmHgの5区分に分類されました。全疾患による疾病休業は、2020年度末までの30日以上とした。データは、年齢、性別、BMI(body mass index)、降圧薬の内服の有無で調整し、cox回帰を用いて分析した。

4. 研究成果

(1) 結果を以下に示す。



ICD10コード	Number of spells during 8 years						Incidence rate of sick-leave (new spells / 1,000 person-years)					
	All	Age categories					All	Age categories				
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳
Overall	3,848	391	645	1,322	1,367	123	10.9	9.6	8.3	11.6	12.9	9.0
感染症および寄生虫症	28	2	7	13	4	2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
新生物	322	4	18	75	185	40	0.9	0.1	0.2	0.7	1.7	2.9
血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	6	0	1	1	3	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
内分泌・栄養および代謝疾患	25	1	2	4	18	0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
精神および行動の障害	2,256	297	476	859	603	21	6.4	7.3	6.1	7.6	5.7	1.5
神経系の疾患	190	18	34	61	73	4	0.5	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3
眼および付属器の疾患	16	1	3	2	10	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
耳および乳突突起の疾患	11	0	0	5	6	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
循環器系の疾患	217	2	9	61	132	13	0.6	0.0	0.1	0.5	1.2	1.0
呼吸器系の疾患	35	2	7	13	12	1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
消化器系の疾患	100	9	11	25	50	5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.5	0.4
皮膚および皮下組織の疾患	14	2	2	3	7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
筋骨格系および結合組織の疾患	255	17	36	83	107	12	0.7	0.4	0.5	0.7	1.0	0.9
泌尿器系の疾患	39	1	2	15	19	2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1
先天奇形・変形および染色体異常	8	1	1	2	4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	37	4	4	9	15	5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
損傷・中毒およびその他の外因の影響	227	22	24	70	96	15	0.6	0.5	0.3	0.6	0.9	1.1
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	5	1	0	0	4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	57	7	8	21	19	2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1

女性

ICD10コード	Number of spells during 8 years						Incidence rate of sick-leave (new spells / 1,000 person-years)					
	All	Age categories					All	Age categories				
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳
Overall	1,386	334	395	377	257	23	13.4	14.8	13.9	11.5	14.0	14.1
感染症および寄生虫症	4	0	2	0	2	0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
新生物	182	10	26	74	64	8	1.8	0.4	0.9	2.3	3.5	4.9
血液および造血系の疾患ならびに免疫機構の障害	3	1	2	0	0	0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
内分泌・栄養および代謝疾患	14	2	2	3	7	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4	0.0
精神および行動の障害	688	238	187	171	90	2	6.6	10.6	6.6	5.2	4.9	1.2
神経系の疾患	74	11	13	35	15	0	0.7	0.5	0.5	1.1	0.8	0.0
眼および付属器の疾患	2	0	0	1	1	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
耳および乳突突起の疾患	8	2	2	2	2	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
循環器系の疾患	29	1	3	13	12	0	0.3	0.0	0.1	0.4	0.7	0.0
呼吸器系の疾患	12	1	1	8	2	0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.0
消化器系の疾患	20	5	3	4	8	0	0.2	0.2	0.1	0.1	0.4	0.0
皮膚および皮下組織の疾患	7	0	3	2	1	1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.6
筋骨格系および結合組織の疾患	65	5	17	15	23	5	0.6	0.2	0.6	0.5	1.3	3.1
泌尿器系の疾患	26	5	9	7	5	0	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.0
妊娠・分娩および産じょく<褥>	134	30	91	13	0	0	1.3	1.3	3.2	0.4	0.0	0.0
先天奇形・変形および染色体異常	4	1	1	2	0	0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
症状・徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	9	1	3	2	2	1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.6
損傷・中毒およびその他の外因の影響	57	8	11	15	17	6	0.6	0.4	0.4	0.5	0.9	3.7
健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	3	1	1	1	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	45	12	18	9	6	0	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.0

(2) 20~59歳の労働者 33,153人を分析した。ハザード比と95%CIは、(1)を基準に、(2)1.29 (1.10-1.51), (3)1.15 (0.92-1.44), (4)1.40 (1.10-1.78), (5)1.70 (1.15-2.51)であった。(p for trend=0.001)。血圧の上昇に伴い、疾病休業のリスクは増加した。疾病休業を防ぐためには、血圧値のコントロールが重要である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計36件（うち査読付論文 26件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 25件）

1. 著者名 Hino Ayako, Inoue Akiomi, Mafune Kosuke, Tsuji Mayumi, Tateishi Seiichiro, Ogami Akira, Nagata Tomohisa, Muramatsu Keiji, Fujino Yoshihisa, on behalf of The CORoNaWork Project	4. 巻 19
2. 論文標題 Association between Long Working Hours and Psychological Distress: The Effect Modification by Request to Stay Home When Sick in the Workplace during the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 3907 ~ 3907
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph19073907	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Matsugaki Ryutarō, Ishimaru Tomohiro, Hino Ayako, Muramatsu Keiji, Nagata Tomohisa, Ikegami Kazunori, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, CORoNaWork Project	4. 巻 64
2. 論文標題 Low back pain and telecommuting in Japan: Influence of work environment quality	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12329	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Ikegami Kazunori, Baba Hiroka, Ando Hajime, Hino Ayako, Tsuji Mayumi, Tateishi Seiichiro, Nagata Tomohisa, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 64
2. 論文標題 Job stress among workers who telecommute during the coronavirus disease (COVID-19) pandemic in Japan: a cross-sectional study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Occupational Medicine and Environmental Health	6. 最初と最後の頁 e145164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.13075/ijom.1896.01865	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Hiraoka Ko, Nagata Tomohisa, Mori Takahiro, Ando Hajime, Hino Ayako, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 27
2. 論文標題 Association between willingness to receive the COVID-19 vaccine and sources of health information among Japanese workers: a cohort study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Environmental Health and Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 2 ~ 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1265/ehpm.21-00284	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugano Ryosuke, Ikegami Kazunori, Eguchi Hisashi, Tsuji Mayumi, Tateishi Seiichiro, Nagata Tomohisa, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, Ogami Akira	4. 巻 4
2. 論文標題 A Cross-Sectional Study of the Relationship Between Exercise, Physical Activity, and Health-Related Quality of Life Among Japanese Workers	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Sports and Active Living	6. 最初と最後の頁 809465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fspor.2022.809465	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Hino Ayako, Tateishi Seiichiro, Ogami Akira, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, Mori Koji, CORoNalWork project	4. 巻 64
2. 論文標題 Prospective cohort study of workers diagnosed with COVID 19 and subsequent unemployment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12317	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okawara Makoto, Ishimaru Tomohiro, Tateishi Seiichiro, Hino Ayako, Tsuji Mayumi, Ogami Akira, Nagata Tomohisa, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, for the CORoNalWork project	4. 巻 64
2. 論文標題 Treatment interruption is a risk factor for sickness presenteeism: A large scale cross sectional study during the COVID 19 pandemic	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12313	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Yuichi, Nagata Tomohisa, Fujino Yoshihisa, Hino Ayako, Tateishi Seiichiro, Ogami Akira, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Mori Koji, for the CORoNalWork project	4. 巻 63
2. 論文標題 Association between perceived organizational support and COVID 19 vaccination intention: A cross sectional study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12308	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KUSUMOTO Akira, KAJIKI Shigeyuki, ANAN Tomomi, NAGATA Tomohisa, NAGATA Masako, FUJINO Yoshihisa, MORI Koji	4. 巻 43
2. 論文標題 Changes in Presenteeism Six Months After Returning from Sick Leave Due to Mental Illness	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of UOEH	6. 最初と最後の頁 385 ~ 395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7888/juoe.43.385	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mizuki Kazuyoshi, Okawara Makoto, Hino Ayako, Ando Hajime, Nagata Tomohisa, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 64
2. 論文標題 Association Between Work Attendance When Experiencing Fever or Cold Symptoms and Company Characteristics and Socioeconomic Status in the COVID-19 Pandemic in Japanese Workers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 e109 ~ e113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002459	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ando Hajime, Ikegami Kazunori, Nagata Tomohisa, Tateishi Seiichiro, Eguchi Hisashi, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, Ogami Akira, for the CORoN@work Project	4. 巻 79
2. 論文標題 Effect of commuting on the risk of COVID-19 and COVID-19-induced anxiety in Japan, December 2020	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Archives of Public Health	6. 最初と最後の頁 222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13690-021-00751-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kurogi Kazushirou, Ikegami Kazunori, Eguchi Hisashi, Tsuji Mayumi, Tateishi Seiichiro, Nagata Tomohisa, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, Ogami Akira, CORoN@Work Project	4. 巻 63
2. 論文標題 A cross sectional study on perceived workplace health support and health related quality of life	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12302	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Anan Tomomi, Ishimaru Tomohiro, Hino Ayako, Nagata Tomohisa, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Ogami Akira, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, for the CORoNaWork project	4. 巻 6
2. 論文標題 Association between COVID-19 infection rates by region and implementation of non-pharmaceutical interventions: a cross-sectional study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Public Health	6. 最初と最後の頁 fdab385
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/pubmed/fdab385	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eguchi Hisashi, Hino Ayako, Inoue Akiomi, Tsuji Mayumi, Tateishi Seiichiro, Ando Hajime, Nagata Tomohisa, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 9
2. 論文標題 Effect of Anxiety About COVID-19 Infection in the Workplace on the Association Between Job Demands and Psychological Distress	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Public Health	6. 最初と最後の頁 722071
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpubh.2021.722071	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mori Takahiro, Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Fujimoto Kenji, Fujino Yoshihisa, Mori Koji	4. 巻 21
2. 論文標題 Diabetes severity measured by treatment control status and number of anti-diabetic drugs affects presenteeism among workers with type 2 diabetes	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 1865
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-021-11913-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masuda Masashi, Ishimaru Tomohiro, Hino Ayako, Ando Hajime, Tateishi Seiichiro, Nagata Tomohisa, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 64
2. 論文標題 A Cross-Sectional Study of Psychosocial Factors and Sickness Presenteeism in Japanese Workers During the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 e1 ~ e7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002415	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsugaki Ryutaro, Muramatsu Keiji, Tateishi Seiichiro, Nagata Tomohisa, Tsuji Mayumi, Hino Ayako, Ikegami Kazunori, Fujino Yoshihisa, Matsuda Shinya	4. 巻 63
2. 論文標題 Association Between Telecommuting Environment and Low Back Pain Among Japanese Telecommuting Workers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 e944 ~ e948
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002412	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Niu Qian, Nagata Tomohisa, Fukutani Naoto, Tezuka Masato, Shimoura Kanako, Nagai-Tanima Momoko, Aoyama Tomoki	4. 巻 16
2. 論文標題 Health effects of immediate telework introduction during the COVID-19 era in Japan: A cross-sectional study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0256530
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0256530	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishimaru Tomohiro, Ibayashi Koki, Nagata Masako, Hino Ayako, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Ogami Akira, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa	4. 巻 26
2. 論文標題 Industry and workplace characteristics associated with the downloading of a COVID-19 contact tracing app in Japan: a nation-wide cross-sectional study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Environmental Health and Preventive Medicine	6. 最初と最後の頁 94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12199-021-01016-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 JINDE Manabu, NAGATA Tomohisa, NAGATA Masako, MORI Koji	4. 巻 43
2. 論文標題 Relationship Between Work Engagement and the Onset of Long-term Sickness Absence Due to Mental Disorders: A 4-year Retrospective Cohort Study	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of UOEH	6. 最初と最後の頁 323 ~ 334
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7888/juoeh.43.323	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 OMORI Miho、NAGATA Tomohisa、NAGATA Masako、FUJINO Yoshihisa、MORI Koji	4. 巻 43
2. 論文標題 Effect of Psychological Distress on the Association of Workplace Social Capital with Presenteeism and Sickness Absence	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of UOEH	6. 最初と最後の頁 293 ~ 303
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7888/juoe.43.293	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tezuka Masato、Nagata Tomohisa、Saeki Kenta、Tsuboi Yamato、Fukutani Naoto	4. 巻 64
2. 論文標題 Association Between Abrupt Change to Teleworking and Physical Symptoms During the Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) Emergency Declaration in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 1 ~ 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002367	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Tomohisa、Nagata Masako、Ikegami Kazunori、Hino Ayako、Tateishi Seiichiro、Tsuji Mayumi、Matsuda Shinya、Fujino Yoshihisa、Mori Koji	4. 巻 63
2. 論文標題 Intensity of Home-Based Telework and Work Engagement During the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 907 ~ 912
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Masako、Nagata Tomohisa、Takahashi Hirotsuke、Mori Koji	4. 巻 64
2. 論文標題 Association of Organizational Factors With the Proportion of Healthy Behaviours and Control of Blood Pressure at a Company Level	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 34 ~ 38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002326	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishimaru Tomohiro, Okawara Makoto, Ando Hajime, Hino Ayako, Nagata Tomohisa, Tateishi Seiichiro, Tsuji Mayumi, Matsuda Shinya, Fujino Yoshihisa, for the CORoNaWork Project	4. 巻 17
2. 論文標題 Gender differences in the determinants of willingness to get the COVID-19 vaccine among the working-age population in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Human Vaccines & Immunotherapeutics	6. 最初と最後の頁 3975 ~ 3981
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21645515.2021.1947098	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 MORI Koji, NAGATA Masako, NAGATA Tomohisa	4. 巻 43
2. 論文標題 Work-Related Factors Affecting the Occurrence of Presenteeism - Recent Research Trends and Future Directions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of UOEH	6. 最初と最後の頁 61 ~ 73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7888/juoeh.43.61	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahashi Hirotsuke, Nagata Masako, Nagata Tomohisa, Mori Koji	4. 巻 63
2. 論文標題 Association of organizational factors with knowledge of effectiveness indicators and participation in corporate health and productivity management programs	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12205	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Tomohisa, Ito Daisuke, Nagata Masako, Fujimoto Ayumi, Ito Ryotaro, Odagami Kiminori, Kajiki Shigeyuki, Uehara Masamichi, Oyama Ichiro, Dohi Seitaro, Fujino Yoshihisa, Mori Koji	4. 巻 63
2. 論文標題 Anticipated health effects and proposed countermeasures following the immediate introduction of telework in response to the spread of COVID 19: The findings of a rapid health impact assessment in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12198	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kimura Koki, Nagata Tomohisa, Ohtani Makoto, Nagata Masako, Kajiki Shigeyuki, Fujino Yoshihisa, Mori Koji	4. 巻 62
2. 論文標題 Cardiovascular and cerebrovascular diseases risk associated with the incidence of presenteeism and the costs of presenteeism	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12167	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Harada Yoshikazu, Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Harada Arisa, Oya Ryoichi, Mori Koji	4. 巻 21
2. 論文標題 Association between overtime work hours and preventive dental visits among Japanese workers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMC Public Health	6. 最初と最後の頁 87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12889-020-10107-7	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okawara Makoto, Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Otani Makoto, Mori Koji, Fujino Yoshihisa	4. 巻 15
2. 論文標題 Association between the course of hypnotics treatment for insomnia and work functioning impairment in Japanese workers	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0243635
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0243635	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nagata Tomohisa, Fujino Yoshihisa, Ohtani Makoto, Fujimoto Kenji, Nagata Masako, Kajiki Shigeyuki, Okawara Makoto, Mori Koji	4. 巻 10
2. 論文標題 Work functioning impairment in the course of pharmacotherapy treatment for depression	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 15712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-72677-1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori Koji, Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Okahara Shintaro, Odagami Kiminori, Takahashi Hirotsuke, Mori Takahiro	4. 巻 63
2. 論文標題 Development, Success Factors, and Challenges of Government-Led Health and Productivity Management Initiatives in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 18 ~ 26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000002002	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukai Kota, Nagata Tomohisa, Mori Koji, Ohtani Makoto, Fujimoto Kenji, Nagata Masako, Fujino Yoshihisa	4. 巻 62
2. 論文標題 Validation of self reported medication use for hypertension, diabetes, and dyslipidemia among employees of large sized companies in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational Health	6. 最初と最後の頁 e12138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/1348-9585.12138	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mori Takahiro, Nagata Tomohisa, Nagata Masako, Otani Makoto, Fujino Yoshihisa, Mori Koji	4. 巻 62
2. 論文標題 The Impact of Diabetes Status on Presenteeism in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Occupational & Environmental Medicine	6. 最初と最後の頁 654 ~ 661
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000001922	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chimed-Ochir O, Nagata T, Nagata M, Kajiki S, Mori K, Fujino Y.	4. 巻 61(8)
2. 論文標題 Potential Work Time Lost Due to Sickness Absence and Presence Among Japanese Workers.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Occup Environ Med.	6. 最初と最後の頁 682-688
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/JOM.0000000000001646.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 永田智久
2. 発表標題 産業保健活動における労働生産性の意味
3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永田智久
2. 発表標題 中小企業の健康経営：中小企業優良法人を対象とした調査より
3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永田智久
2. 発表標題 労働機能障害とその後の受診行動に関する後ろ向きコホート調査
3. 学会等名 第94回日本産業衛生学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永田智久
2. 発表標題 日本の雇用者における疾病休業コスト、プレゼンティーズムコストおよび医療費・薬剤費の内訳
3. 学会等名 第37回産業医科大学学会総会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------